

令和8年第5回教育委員会定例会
(3月13日開会)

台東区教育委員会

○日 時 令和8年3月13日（金）午後2時30分から午後2時57分

○場 所 台東区役所 6階 教育委員会室

○出席者

教 育 長	佐藤 徳久
教育長職務代理者	神田しげみ
委 員	川崎 修一
委 員	岩永 章
委 員	浦井 祥子

○出席者

事 務 局 次 長	佐々木洋人
庶 務 課 長	山田 安宏
教育施設担当課長	中島 伸也
学 務 課 長	仲田賢太郎
児 童 保 育 課 長	村松 有希
放課後対策担当課長	別府 芳隆
指 導 課 長	宮脇 隆
教育改革担当課長	増嶋 広曜
兼教育支援館長	
生涯学習推進担当部長	吉本 由紀
生 涯 学 習 課 長	吉江 司
スポーツ振興課長	榎本 賢
中 央 図 書 館 長	穴澤 清美

○日 程

日程第1 議案審議

第15号議案 令和8年度台東区一般会計補正予算（第1回）における教育関係経費計上予定案の意見聴取について

第16号議案 東京都台東区教育委員会の権限に属する事務の委任について

日程第2 教育長報告

1 協議事項

（1）庶務課

ア 公益社団法人東京青年会議所台東区委員会が実施する事業に対する共催について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 令和8年4月の行事予定について

3 その他

午後2時30分 開会

○佐藤教育長 ただいまから、令和8年第5回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、川崎委員にお願いいたします。

ここで、傍聴について申し上げます。本日、会議の傍聴を希望する方については許可することとしておりますので、ご了承ください。

それではまず、審議順序の変更について私から申し上げます。日程第1、議案審議、第15号議案につきましては、東京都台東区教育委員会会議規則第15条第1項に該当する案件であり、傍聴にはなじまないと思われれます。つきましては、傍聴人退出後に非公開で聴取いたしたいと思ひます。なお、非公開会議の会議録については、本来公開するものではないですが、本定例会で非公開とした案件については、区議会報告後に公開することといたしたいと思ひます。

これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんので、そのように決定いたしました。

〈日程第1 議案審議〉

第16号議案

○佐藤教育長 初めに、日程第1、議案審議に入ります。

議案の提案理由、及び内容について、説明をお願いします。

第16号議案を議題といたします。

庶務課長、説明をお願いします。

○庶務課長 それでは第16号議案、東京都台東区教育委員会の権限に属する事務の委任についてご説明をいたします。

本案は、地方自治法第180条の7の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の委任について、区長あてに協議を行うため提出するものでございます。

恐れ入ります。資料の次のページをご覧ください。区長への協議内容は、委任事務の内容と委任の始期の2点となっております。まず1点目の委任事務の内容につきましては、放課後子供教室に関すること。2点目の委任の始期は、こども家庭部が創設される令和8年4月1日でございます。

次のページの協議依頼書の案をご覧ください。議案でお示ししました内容を記載しておりますけれども、こちらをご決定いただきましたら、教育委員会から区長宛に依頼文として送付したいと考えております。なお、本協議が区長部局で同意された場合には区長部局へ委任する事務について、今度は東京都台東区教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則に規定がございますので、こちらの規則の改正手続きが必要となります。こちらにつきましては、また改めて後日説明をさせていただきます。

説明は以上でございます。よろしくご審議の上、原案どおりご決定いただきますようお願い

願ひ申し上げます。

○佐藤教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございますでしょうか。

そのほか、よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 これより採決いたします。

第16号議案については、原案どおり決定いたしたいと思ひます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんでしたので、原案のとおり決定いたしました。

〈日程第2 教育長報告〉

1 協議事項

(1) 庶務課 ア

○佐藤教育長 次に、日程第2、教育長報告の協議事項を議題といたします。

まず、庶務課のアについて、庶務課長、説明をお願いします。

○庶務課長 それでは、公益社団法人東京青年会議所台東区委員会が実施する事業に対する共催についてご説明をいたします。資料1をご覧ください。

初めに、1の事業の名称は、「2026年度 台東区委員会 地区推進事業 STEAM FESTIVAL」。実施日は、本年6月26日・27日の2日間、会場は上野恩賜公園竹の台広場及び忍岡中学校体育館でございます。

5の事業の目的は、台東区内の小学生及びその保護者、また多くの来場者に対し、STEAM教育の必要性を感じていただき、将来的にSTEAM教育を普及させていくこととございます。

次のページの6、事業内容でございますが、STEAM教育に関して理解をしてもらう場といたしまして、様々なSTEAM教育に関するブースを出展し、来場者に実際に体験をしてもらうなど、多様なメニューが用意されているイベントとなっております。

後ろに事業計画書を添付しておりますのでご確認ください。なお、入場料等の徴収はございません。

9の過去の後援名義使用につきましては、2021年から教育委員会のほうで承認をしております。昨年度のSTEAM FESTIVALも教育委員会の後援となっております。東京青年会議所台東区委員会は、以前から本区におけるSTEAM教育の普及推進に力を入れており、教育委員会も、来年度、STEAM教育を新規事業として予算化し、今後の取組について検討を進めていくことから、この度、後援から共催へと切り替えるものとしたところでございます。

資料といたしまして事業の予算書、それから役員名簿等を添付しておりますので、ご確認いただきたいと思います。

簡単ですが、説明は以上でございます。よろしくご協議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○佐藤教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問等はございますでしょうか。

○浦井委員 こちらの資料の11枚目で、目標来場者数が、2日間の延べ人数として1万2,000人となっているんですが。最初の5枚目のところの参加対象者の範囲、参加予定人数は2万人としていらっしゃいます。1万2,000人というのは、この竹の台とかの噴水広場のほうのものを中心として1万2,000人で、そこに何かでプラスされるということで、2万人ということにしていられっしゃるのでしょうか。この人数の違いについてが一つ。

あと、前にもなさっているわけで、実際このSTEAM教育というのは、非常に今、いろいろなところで叫ばれるようになっているのですが、それでも意外に一般の方々には馴染みがない。まだまだどういうものかも分からないということが多いと思いますので、こういうきっかけをくださるというのは、非常にありがたい試みだと思います。そのうえで、今までのところどうだったのかということも含めて教えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○庶務課長 まず申請書の2万人と、それから事業計画書の中の1万2,000人のところでございます。実際のところは、二つ目のご質問のほうとも絡むんですけども、去年のこの同じイベントの参加者数というのが約1万2,000人という実績がございます。それをベースに企画のほうは多分作られているというところだろうと思われま。

2万人のほうは、気合が入っているところもあってなのかなというところも含めてですね、大きくちょっとまとめた数字で書いている形になっておりますけれども、実態はそのぐらいの参加者だったというところがございます。

また、今委員のご指摘があったように、やっぱりあまりSTEAM教育自体の認知度が高くなかったというところが昨年度の来場者に対するアンケート等で見られているところではございます。なので、今回さらにこういった形で、いろんな企画がかなり織り込まれておりますけれども、これを展開することによって、さらにたくさんの来場者に興味関心を持ってもらって、また、私、先ほどご説明で申し上げましたが、令和8年度の新規の予算のほうで、教育改革担当のほうでこのSTEAM教育というところを単事業化して力を入れていくというところもございますので、そのあたり、青年会議所のほうとも連携しながら、いいデータを取りつつ、将来の参考にしていきたいというところがございます。

○浦井委員 よく分かりました。ありがとうございました。

○岩永委員 昨年度の実施状況が掴めてないので、イメージが少し湧かないのですけれども、STEAM教育自体は今後我が国で力を入れていかなければいけない要素の一つだと受け止めております。本区としましても、来年度予算化されるということで、今後学校現場等に普及させていくものと考えています。そのきっかけ作りとしてはこの事業は大変利用の価値があると受け止めております。

実際のイベントについて確認させていただきます。上野公園の竹の台広場というのは、上野公園内の噴水のところですね。噴水のところがメイン会場ということで、他の会場の一つに忍岡中学校体育館が入っているのですが、そこでの利用の内容などの具体を教え

ていただけますか。

○**庶務課長** 会場をまたがって、いろいろ使っていくような形になっております。実際に今、岩永委員のご指摘があった竹の台広場のところは、いろいろなイベントの会場になると同時にいろんな飲食の屋台が出たりですとか、かなりイベントのメイン会場としてのカラーが強くなっている使い方になっています。

忍岡中学校の体育館のほうにつきましては、今ちょっと調整をしているところではございますけれども、今回のそのSTEAM教育に関連する事業として、今ご覧いただいている企画書の中のほうに、PDFでいくと14ページ目のところですね。企画書だと10ページというところになりますけれども、ここのところに盆踊りとサンバの融合、それから江戸手書き提灯アート、二つございます。恐らくですが、この江戸手書き提灯アートなんかは実際に参加者に提灯を書いてもらうというようなところを予定しているということですので、屋内でやっぱり天候に左右されずにできるというところがいいということで、体育館の使用に関しては相談をいただいております。ですので、恐らくその会場として使われるのかなというところがございます。

○**岩永委員** 体験イベントのエリアとして体育館を利用するという解釈でよろしいですか。

○**庶務課長** はい。そのようになりますと思います。

○**岩永委員** そうしますと、地域の一般の方も校舎内に入ってくるということですので、その部分のセキュリティ状況とか、その辺はどうなりますでしょうか。

○**庶務課長** 忍岡中学校体育館ということになりますので、ここは通常でも学校で使わないときには学校開放の一環で地域の方にお貸ししたりとか、そういったところがございます。それと同様の動線の確保ですとか、セキュリティエリアの切り分けとか、そこをきちんとやりながらお使いいただくということになっていくかと思います。

○**岩永委員** 分かりました。

○**川崎委員** ご説明の中で、後援名義使用から共催へということだったんですけど、何かそれで、台東区としての関わり方が大きく変わったということはあるのですか。

○**庶務課長** 事業の中身、このイベントの中身には直接的には大きく関与して変更をかけているとかには今のところなっておりません。ただ、共催事業としてやってまいりますので、あくまでもやはり我々としてはSTEAM教育というところの視点から、このイベントというのをやってもらいたいというところはすごくありますので、そのあたりが逸脱しないというか、あんまり倦怠しないようにというところで、今後先方の主催者と調整を進めながらやっていきたいというふうに考えております。そのレベル感として共催という形で上げていくことで対応したいと思ってございます。

○**川崎委員** ありがとうございます。

○**神田委員** 川崎委員の話と関連するかと思うのですが、この取組自体は大変いいので賛成なのですが、体験が楽しかった、で終わってしまうような感じがします。STEAM教育というのが、まだ一般化していないということで、どういう趣旨でこういうものをや

り、それはどういう効果があるのかということを明確に示していただきたいと思います。

今、示されたイベントの中では、教育委員会として、例えばこれはSTEAM教育としてよい取組だと思うものがあつたら、一つ二つ例を挙げていただけたらと思います。

○庶務課長 まず、最初のほうのところにつきましては、こちらの企画書のほうでも、PDFで言いますと15ページ・16ページといったところに今の二つの、盆踊りのところとそれから提灯のところですけども、それぞれこんな形の考え方でやっていくということで学習の価値ですとか、あと右半分のところにはSTEAMの、それぞれS・T・E……と対応しているところの内容に関して今企画の段階でこのようなところの部分があるだろうというのがあります。

こういったものを、実際に体験していただく現場でもある程度表示するなり何なりという形で、その体験者に理解してもらいながら体験を楽しんでいただくというのがいいのかなというふうに思いますので、そちらに関してはこちらでも事業者のほうと話をしながら、やるように努めてまいりたいと思います。

あと、実際にどうだったかというところになります。昨年度ではこのような取組の中で、作曲、曲作りなんかもやっておりました。そういったものに関しても、単純に作曲するだけではなくて、そのこのところで考え方をいろいろ混ぜながら、実際にその曲を完成させるというような形でやられていたというふうに私も聞いておりますので、そういったものと同じような形か、さらに踏み込めれば本当はいいですけども、そういった形で今年度の事業が行われればというふうに考えて期待しているところでございます。

○神田委員 ありがとうございます。STEAM教育が大切だということで、教科を統合したり、探究学習をしたり、そういうことを通して創造性を高めていくというような辺りを、学校だけではなく、企業などとも連携を図りやっていくことは大変よいことだと思います。

○岩永委員 今のご発言に関連しまして、STEAM教育というキーワード自体は社会で一般的にはそれほど認知されているものではないと受け止めています。教育の関係者の中ではもう普及はしているのですけれども、社会一般となると必ずしもそうでない状況があると認識しております。そうした中、STEAM教育を広める意味で、このフェスティバルは大変意義があると思っています。今回の申請は共催という形ですので、教育委員会も関わるということになります。したがって、その内容につきましては、教育的な要素をきちんと把握していかないと、単なるイベント、お祭りごとで終わってしまうことが危惧されます。共催の意味を私たち十分意識した上で、開催事業者と共によいイベントを作り上げていくという方向に進んでいくことが必要だと思います。ぜひその点、ご留意いただければと思っています。

以上です。

○佐藤教育長 そのほか、よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、庶務課のアについては、協議どおり決定いたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○佐藤教育長 ご異議ございませんでしたので、協議どおり決定いたしました。

2 報告事項

(1) 庶務課 ア

○佐藤教育長 次に、教育長報告の報告事項を議題といたします。

庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いします。

○庶務課長 それでは、令和8年4月の教育委員会の行事予定についてご説明をいたします。資料は2でございます。

まず、教育委員会の定例会ですが、7日と、それから21日の、共に火曜日、午後2時から
の開会でございます。

それから、資料のほうにございますとおり、15日、水曜日には台東区スポーツ協会の総
会が行われます。

また、連合校長会全体会が17日、金曜日、午前10時から、区役所10階で開催されます。
こちらには教育委員の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

簡単ですが、以上でございます。

○佐藤教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

(なし)

○佐藤教育長 それでは、庶務課のアについては、報告どおり了承願います。

会議の冒頭に申し上げましたとおり、これより会議は非公開といたします。

恐れ入りますが、傍聴人の方はご退室をお願いいたします。

(傍聴人退出)

○佐藤教育長 引き続き、非公開の会議録署名委員につきましては、川崎委員にお願い
いたします。

〈日程第1 議案審議〉

第15号議案

○佐藤教育長 それでは、日程第1、議案審議に入ります。

議案の提案理由、及び内容について、説明をお願いします。

第15号議案を議題といたします。

庶務課長、説明をお願いします。

○庶務課長 それでは、第15号議案、令和8年度東京都台東区一般会計補正予算（第1回）

における教育関係経費計上予定案の意見聴取についてご説明をいたします。本案は、第1回区議会定例会へ付議する議案の作成にあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、意見を求められているため提出したものでございます。

議案の次に添付しております、内訳書をご覧ください。2枚後ろになります。

歳出予算でございますが、歳出予算を2,380万6,000円減額し、補正後の総額を266億5,834万1,000円といたします。

次に、債務負担行為でございます。（仮称）北上野二丁目福祉施設整備で建築現場の地下から大量の松杭等の埋設物が発見されたため、所管課がそれらの撤去に向けた対応策の検討を進めてまいりました。その結果、撤去に必要な工事を新築工事と一体的に行うため、実施設計を変更する必要性が生じたことから、債務負担行為の限度額を変更するものでございます。

次の資料をご覧ください。歳出予算の内訳書になってございます。まず教育総務費では、（仮称）北上野二丁目福祉施設整備で、実施設計の変更により、工事期間を35か月から41か月に延伸したことに伴い、学務課が61万1,000円、教育支援館が2,319万5,000円、それぞれ減額となっております。

お手数ですが、議案の2ページ目にお戻りください。教育委員会の意見案として、本委員会としては原案に異存ありませんといたしました。

説明は以上でございます。よろしくご審議の上、原案どおりご決定いただきますようお願い申し上げます。

○佐藤教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございますでしょうか。

そのほか、よろしいでしょうか。

（なし）

○佐藤教育長 これより採決いたします。

第15号議案については原案どおり決定いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（異議なし）

○佐藤教育長 ご異議ございませんでしたので、原案のとおり決定いたしました。

3 その他

○佐藤教育長 本日の案件については、以上になります。

その他、発言等がございましたら、どうぞ。

よろしいでしょうか。

（なし）

○佐藤教育長 以上をもって、本日予定された議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして本日の定例会を閉じ、散会といたします。

午後2時57分 閉会